

議会の手帖 211

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2025.11.1



9月の定例議会で犬山市の こんなことが決まりました。

9月定例議会

(24日間・9月1日～9月24日)は

- 市長提出議案……………24件
 - 委員会提出意見書案……………2件
- が提出されました。

すべての議案名と結果は、
犬山市議会ホームページを
ご覧ください。



議決結果一覧
はこちら

今号では
この中から
3つを選びました

第59号議案 犬山城入場登閣料等徴収条例の一部改正について

Pick up 2

犬山城の入場登閣料を改定します。

【内容】
令和8年3月から一般1,000円(現行550円)、小中学生200円(現行110円)に改定します。

こんな質問が出ました。

Q 今回の値上げによる入場登閣者数の影響についてどう見ているか。それに対してどのような対応を考えているか。

A 一定程度の入場者の減少は想定をしています。今回の改定は、保存継承、さらなる魅力向上、利用者の利便性の向上等のため、様々な事業を行いながら、将来に向けて基金にも積み立てていくものです。非公開エリアの特別観覧ツアーや、天守内展示のリニューアルなどを実施し、広く発信する



ことで、犬山城をさらに魅力あるものにしていきます。

AQ 市民優遇は議論されたか。保存管理に必要な費用は、国からの補助金を除けば、そのほとんどを入場登閣料収入で賄っています。必要な費用は、皆様に平等にご負担いただくこととしました。

第54号議案 犬山市子ども屋内遊戯施設の設置及び管理に関する条例の制定について

犬山市子ども屋内遊戯施設(屋内型キッズスペース)の詳細が決まりました。

【内容】

令和8年4月供用開始予定の「犬山市子ども屋内遊戯施設(屋内型キッズスペース)」の利用時間や使用料等が決まりました。

Pick up 1

こんな質問が出ました。

Q 利用時間・利用料金が決まった経緯は。

A 利用の開始時間はヨシヅヤの開店時間(午前10時)と同じです。終了時間については、夕食の時間を考慮し、午後5時までが適当と考えました。利用料金については、令和6年に開催したタウンミーティングでアンケートを行いました。また近隣の子どもの遊び場の利用料、市で定めている公共施設使用料の見直しに関する基本指針等も踏まえて

検討しました。その結果、市民は平日1人1日300円、特定日(※)は1人1日500円(3歳未満の児童は無料)という金額設定にしました。



※特定日…土・日・祝日や学校の長期休業日等、利用の増加が見込まれる日

第62号議案 犬山市下水道条例及び犬山市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

Pick up 3

公共下水道及び農業集落排水処理施設の使用料を改定します。

【内容】
経費回収率が100%となるように、令和8年度より25%、令和11年度より更に25%、累計50%引き上げます。

こんな質問が出ました。

Q 値上げ以外に検討した方法は。

A 主に下水道計画区域の見直し、水洗化率の向上、不明水対策、他市町との事業共同化に取り組んできました。

Q 今回の引上げを仮に一定期間見送った場合に何か支障はあるか。

A 使用料収入が不足したまま税金で補う形が継続すると、犬山市のほかの施策に使える一般会計が圧迫され、住民サービスの低下を招くおそれがあります。また必要な投

資や更新が先延ばしになり、将来的に大きな負担を住民に強いることとなります。

Q どれくらい市民に周知しているのか。

A 今後、説明会を開きながら、どうしても値上げが必要か理由もしつかり述べながら、ご理解いただけるようにしていきたいと思っています。



犬山市のマナーホール(カラー)

討論

(第54号議案) 犬山市子ども屋内遊戯施設の設置及び管理に関する条例の制定について (第64号議案) 犬山市子ども屋内遊戯施設に係る指定管理者の指定について	賛成	増田議員	DBO方式について、分離発注方式に比べ工期も短縮できるなど利点も多い。子どもたちが安全に遊べる施設の整備は未来を担う子どもたちの発育に重要。
	反対	小川隆広議員	審議課程の非公開が多く判断材料が不足している。DBO全体で約6億5千万円の大事業であり、本市の身の丈にあったお金の使い方か疑問を感じる。利用条件が厳しく公平性に欠けるため、原案に反対する。
(第62号議案) 犬山市下水道条例及び犬山市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成	畑議員	使用料改定は受益者負担の公平性を確保し、市民生活を守りながら将来世代にツケを残さないための前向きな投資と考える。
	反対	久世議員	十分な審議がされたとは到底思えず、都市計画税の受益者負担の適正化、不明水の責任、使用料対象経費の精査など議論すべきと考える。
	反対	岡議員	不明水対策の強化などの経営努力は示されず、物価高騰の中、事前に市民に説明の無い制度変更は問題である。

請願及び意見書

請願第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
請願第2号	再審法改正を求める意見書の提出を求める請願
意見書案第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
意見書案第2号	刑事訴訟法における再審に関する規定の改正を求める意見書

令和7年9月定例議会 議案の賛否
(全員一致以外)

議案等 番 号	件名	議 決 結 果	日本共産党 犬山市議団		公明 クラブ	創大会						清風会							
			小川 隆広	岡 覚	岡村 千里	島田 亜紀	諏訪 毅	増田 修治	光清 毅	小川 清美	畑 竜介	玉置 幸哉	柴田 浩行	大沢 秀教	鈴木 伸太郎	沼 靖子	久世 高裕	柴山 一生	丸山 幸治
審査期限 の延期 (第62号 議案)	犬山市下水道条例及び犬山市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について審査期限の延期をすることを求める動議	否決	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	×
第62号 議 案	犬山市下水道条例及び犬山市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	○
第54号 議 案	犬山市子ども屋内遊戯施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
第64号 議 案	犬山市子ども屋内遊戯施設に係る指定管理者の指定について	可決	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×

9月定例議会では、24件の市長提出議案を可決（決算は認定）しました。また、下記の請願を採択、意見書案を可決しました。全員一致を除く賛否については下記のとおりです。また、主な討論の内容については左記のとおりです。

議会の主な議案等にチェック
提出議案に賛成・反対しました



意見書はこちら



請願はこちら



すべての賛否はこちら

令和8年度予算編成に向け、市への申入れを実施

令和6年度の決算審査の過程での指摘事項が、今後の事業のさらなる改善や見直しにつながるよう、各常任委員会で討議を行い、意見を集約し、10月16日に議長から市へ申し入れをしました。



総務委員会

1. 消防庁舎建替えについて、人口規模を見据えた適切な新庁舎の計画を策定すること。
2. 事業評価シートの在り方について、業務改善の視点を含め考えること。



建設経済委員会

1. 下水道事業について、市民の理解を深めるとともに、公営企業としての適正化を進めること。
2. 道路等の除草について、市民要望の増加もあることから、引き続き予算確保に努めること。



出典：公益社団法人日本下水道協会
<https://www.21stgesui.jp/kankyo-kyoiku/material/>

民生文教委員会

1. 国民健康保険は、これまで厳しい増税を続けてきたが、純粋な単年度の収支が大きく改善していることや安定的な基金への積立ができていることから、今後は被保険者の負担軽減に努めること。
2. 整備後に十分に活用されていない史跡や文化財、天然記念物等が見受けられるため、積極的な利活用を推進するとともに、学校教育の場でもラーケーションを有効に利用するなど、教育委員会内の関係各課が連携して取り組むこと。
3. 史跡犬山城跡整備基本計画に定められた今後の事業については、可能な限り前倒しを図ること。特に天守入口前の雨除けテントは、美観の観点から早急に更新し、国宝犬山城にふさわしい環境整備を推進すること。

- Q** 熱中症疑いも含めた屋内熱中症救急件数を伺う。
- A** 過去3年では、令和4年16件、令和5年23件、令和6年30件です。
- Q** 環境負荷を抑えるため省エネ普及促進はどのようなことを行っているか。
- A** 太陽光発電や蓄電池、ZEH住宅等に対する住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金、高効率給湯器に対する住宅省エネ改修支援補助金、次世代自動車導入補助金を設け推進しているほか、環境イベントで地球温暖化防止や省エネの重要性の啓発をしております。
- Q** こうした補助金に該当する設備はどういった趣旨で選定されているのか。
- A** 国や県が補助対象にしている温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防



- Q** 止を推進するための設備等を選定しております。
- A** エアコンは家庭内電力消費の多くを占めており、再来年には省エネ基準の改正が行われる。また屋内熱中症も増加傾向である。熱中症対策や、新基準の側面からも補助制度の拡充等を検討してはどうか。
- Q** 古いエアコンを高効率なものに取り替えることは、電力消費量及び二酸化炭素排出量削減に繋がります。国や他自治体、社会情勢を注視し、現行の各種補助金が、より効果的なものになるよう適宜見直しを行ってまいります。

- Q** 私は昨年6月にがん検診の必要性を訴え、自ら検診を受けた結果、乳がんが見つかった。自覚症状はなく驚いたが、手術をし、命をつなぐことができた。犬山市のがん検診の受診状況はいかがか。
- A** 乳がん・子宮頸がん検診ともに、ここ数年で1.25%の微増にとどまり、特に子宮頸がんは若年層の受診率が低い状況です。名古屋市中では500円ワコンコイン検診を導入し、令和3年度から5年度にかけて、乳がん検診は18%から52%へ、子宮頸がん検診は28%から65%へと大幅に上昇した。市民の命と健康を守るため、ワコンコイン検診導入や多角的な周知策を検討すべきではないか。
- A** 現在、75歳以上の方や、



- Q** 生活保護世帯、市民税非課税世帯は無料で、国民健康保険加入者は集団検診では500円で受診できます。現時点では自己負担の引き下げの予定はありません。周知については、乳幼児健診の案内と合わせて「プレスト・アウェアネス」の案内を行うなどしています。今後の取組みとしては、対象者を限定した個別の案内や、様々なチャネルを通じて、受診のメリットと受診しないリスクを理解していただくための情報発信を検討していきます。

熱中症とエアコンについて



創犬会
増田 修治

一般質問

- Q** 自治体システム標準化の進捗状況について伺いたい。
- A** 本市における標準化対応については、今年度の年始年末休暇を利用して、標準準拠システムへの切り替えを行ない、令和8年1月5日より、標準化対応を行った新しいシステムを使って業務を行う予定です。標準化対象外であるにも関わらず改修が必要となる医療費助成システム、統合型GIS、確定申告システムなどの「関連システム」も移行期限である年度内に改修が完了する見込みです。現時点でスケジュールに遅れを生じるような大きな問題はなく、計画どおりに進めています。
- Q** 自治体システム標準化の本市の経費負担、財源確保について伺いたい。
- A** 現時点では、これから締結する契約が残っているため見込みとなりますが、令和6年度と7年度における標準化事業の移行経費のうち、本市の負担分は約25%、全体で約7億8千万円のうち、約1億9千万円となる見込みです。運用、保守に関する費用は、補助金対象とならないことから、他の自治体と同様に、経常費用は増額が見込まれます。そのため、運用経費の増額について、市長会を通じて財政措置を要望しています。



自治体システム標準化について



日本共産党
犬山市議員
小川 隆広

市内にある歴史文化資源について

- Q** 犬山市は国宝2件、重要文化財18件など、文化財が豊富である一方、市指定文化財は平成21年以来、新規指定されていないが、その理由を問う。
- A** 国や県の指定や登録、犬山城跡の史跡整備、国宝天守の耐震工事、犬山祭のユネスコ登録などを重点的に進めてきたため、市独自の調査や洗い出しに人員や時間を割けなかったことが理由であります。
- Q** 市指定文化財の今後の方針と取組状況はいかがか。
- A** 重要性は認識しており、令和6年度の文化財保護審議会で指定すべきものの洗い出しや調査を行い、指定を進めていく方針を確認しました。令和7年度には建造物の調査を予定し、順次指定手続きを進めてまいります。



進めてまいります

- Q** 蕎麦酒やげんこつ飴など地域の食文化を、単なる商業活動ではなく歴史や暮らしを映す文化財としてどう評価し、継承へとつなげていくのかを問う。
- A** これらは無形民俗文化財に相当すると考えています。蕎麦酒は伝統産業、げんこつ飴は百年以上続く郷土菓子であり、いずれも重要な歴史文化資源です。文化財保存活用地域計画の中で保存や活用を図り、その魅力を広く紹介する方法も検討してまいります。



創犬会
畑 竜介

女性特有のがん検診について



公明
クラブ
島田 亜紀

- Q** 7月に執行された参議院選挙での本市における期日前と当日の投票率はどうか。
- A** 7月に執行された参議院選挙の本市の投票率は62・16%で、そのうち期日前は26・92%、当日は34・93%となっています。当日の朝、昼、晩など時間帯別の投票率はいかがか。
- A** 午前7時から午後0時30分までは54%、午後0時30分から午後6時までは33・29%、午後6時から8時までは、12・71%となっています。
- Q** 全国でも約4割の投票所で閉鎖時間の繰り上げが進んでいる。本市は期日前投票の日もしっかりつくりながら投票の機会を確保している。職員は当日投票の午前7時から深



夜12時までの17時間労働となる人、翌日代休など取れない場合は、通常勤務であるなど、職員の働き方改革も鑑み、投票時間の短縮を提案するが、当局の考えは。

A 全国では約39%の投票所で時間の繰り上げが行われています。県内では離島や山間部の投票所で一部繰上げがありますが、有権者の投票機会を奪うことにもなりかねないため、地域の実情や時間帯別の投票率を十分精査したうえで慎重に検討します。

- Q** 当市の景観計画では城下町の高さ制限を13メートルとして誘導しているが、確固たる制限を設けるべきと考える。以前、一般質問にて高度地区指定について提案したが、あれから5年以上経つため、その後の進捗状況などについて尋ねる。
- A** 高度地区の都市計画決定は、景観法による緩やかな制限とは違い、建築物の高さを絶対的に制限することになります。そのため、既存の市街地で決定する場合は、地域と一緒に取り組む必要があり、地域住民の意向が重要です。令和3年度に城下町地区を対象とした景観に関する意向調査を実施したところ、地域によって若干のバラつきはあるものの高さのルールは8割



程度が守られている。高さのルールを義務化することについては、半数程度がそのままでの回答でした。したがって、地域全体が更なる規制強化を求めている状況ではない中で、高度地区の指定を進めていくことは困難と考えています。

城下町の景観保全は、継続的に行なっていくものですので、来年度に再度景観に関する意向調査を実施するなど、今後も引き続き、住民からの意見集約に努めていきます。

投票時間について



創犬会
玉置 幸哉

城下町の高さ制限について



創犬会
小川 清美

一般質問

高齢者あんしん相談センターについて



公明
クラブ
諏訪 毅

- Q** 犬山市では、高齢者あんしん相談センターが市内5か所に設置されており、一人暮らし高齢者等への訪問、介護保険サービスの利用や福祉に関する相談等、様々なことに取り組んでいるが、過去3年間の相談件数はどのくらいあったのか。
- A** 過去3年間において、市内5か所の高齢者あんしん相談センターが実施した相談や支援は、いずれものべ件数になりますが、令和4年度は1万6655件、令和5年度は1万7349件、令和6年度は1万4542件となります。
- Q** 高齢者あんしん相談センターの現時点での課題などに対する取組について伺う。
- A** 令和6年度から高齢者あ



んしん相談センターの体制強化に取り組んでいます。現時点ですでに人材確保が困難となっていることから、センターの業務を通じ、人材育成が行われる仕組みとさせていただいています。まずは、毎年1万件を超える相談支援をしっかりと行いながら、将来的には、一人暮らしの方や健診により把握した健康問題を持つ方など、日常生活に不安や問題を抱える可能性が高い方に対し、積極的に支援を行う事ができる体制強化を目指しています。

コミュニティバスの利用促進について



創犬会
光清 毅

- Q** 地域公共交通会議では、コミュニティバスの運行再編に向けて、どのような議論が進められるのか。
- A** 会議では、①運賃等の見直し②商業施設等との連携強化③各地域での課題等の解消の3つの柱を設定し、検討します。来年の6月の会議で最終的な運行計画案を決定する考えです。
- Q** 以前の議会で、商業施設等へのバスの乗り入れを提案したが、どのように進めているのか。
- A** 現在、3つの商業施設と個別に乗り入れの交渉を進めています。
- Q** 新しくなる総合犬山中央病院へのバスの乗り入れについては、どのように調整しているのか。
- A** 新設する建物の正面玄関付近のひさしがある場所



- に、バス停を設置する方向で調整しています。
- Q** 以前の議会で、バス利用者への特典付与を提案したが、現状はどうなっているのか。
- A** 今年の3月から購入特典付きのデジタルチケットの販売を始めました。
- Q** 普通乗車券利用者も優待を受けられるようにできないか。また、優待利用施設を増やせないか。
- A** それぞれ、検討していきます。

- Q** 令和7年6月議会であり方を見極めるための検討に着手したと答弁があるが、何をどのように検討されているのか。
- A** 市民ニーズや健康寿命の延伸、介護予防、費用対効果などを考慮しながら、さら・さくらの湯に限らず、市民健康館全体で担うべき機能の検討を行っているところだ。
- Q** 災害時、避難所に入浴施設があるというのは大きなポイントになるのは間違いないと思うが、そうなればさら・さくらの湯の役割は大きい。避難所としての役割をどのように考えているのか。
- A** 避難生活における入浴は、感染症予防やストレス軽減の観点から非常に重要なため、大災害時には自衛隊による仮設浴場のほ



- Q** 耕作放棄地、畑の状況は。本市の畑は個々の面積が広くない傾向があり、自家消費としての耕作地が多く、加えて畑の形状、水利や接道状況など、条件が悪い場所も少なくなく、耕作放棄地になりやすい状況にあります。引き続き耕作放棄地の解消に努めてまいります。
- AQ** 新規就農の状況は。直近3年間で16経営体ありました。
- Q** 桃、二の宮みかんの状況はどうか。
- A** 令和6年度に補助金制度を新設、桃は生産者5名からの申請があり、今後の生産拡大が期待されます。二の宮みかんは2名の生産者から相談がありました。申請には至っていません。今後も畑のマッチングを実施しなが



- Q** 平成24年から繰り返し議論されてきた蟬屋長塚線だが、令和5年に市長が「着手します」と明言され、本格的に動き出した。開通によって羽黒地域にどのような効果があるか。現在は行き止まりや踏切で大きく迂回を強いられています。整備により東西の移動がスムーズになり、緊急車両の到達時間短縮など、市民生活の安全・安心に寄与します。
- Q** 住民説明会を前に、蟬屋長塚線事業に対する市長の思いは。
- A** 蟬屋長塚線は私の判断で前倒して進めている事業です。国道41号の6車線化と結びつき、アクセス改善だけでなく、災害に強いまちづくり、企業誘致や成長の可能性にもつながります。犬山は潜



- Q** 犬山城の防災対策の強化については、令和元年から継続的に一般質問している。令和元年は、ノートルダム寺院や首里城で大規模な火災が発生した。防災対策を強化して、国宝犬山城を確実に次の世代に継承していかねばいけない。防災対策強化の取り組みについて伺う。
- A** 令和7年度から夜間警備員を増員して、完全2名体制としました。犬山城防災対策計画については、令和7年度末に策定を予定しています。防災設備の更新・新設については、令和8年度に実施設計を行い、令和9年度から10年度にかけて工事を実施します。火災発生防止として電気配線や分電盤の更新。落雷対策としてS



羽黒・楽田のまちづくりへ！
都市計画道路蟬屋長塚線について



清風会
沼 靖子

犬山城の防災対策の強化について
(スプリングライ設備)



創犬会
柴田 浩行

さら・さくらの湯の今後について



ピアンキ
恵子

犬山の農業を考える
(農業者の視点から)



清風会
鈴木伸太郎

Q 犬山市では下水道計画区域と都市計画税の対象となる市街化区域の大部分が一致していることから、都市計画税の約6割が下水道事業会計に繰り入れられてきた。使用者からすれば、都市計画税の多くを実質的な使用料として負担していたことになる。本来、下水道事業は公衆衛生や公害対策など公共性が極めて高い事業であるため、一般会計からも財政負担をするのは当然と考えるが、使用料を上げて一般会計からの負担を減らすなら、その分を減税するなど市民への還元策を検討すべきではないか。

A 財政シミュレーションにおいて今後も厳しい財政予測となっており、一般会計からの繰出金の減額は



Q 屋内型キッズスペースは、天候に関わらず子どもたちが遊べる場としてヨシヅヤの2階に整備が予定されている。整備の手法としてDBO（デザイン・ビルド・オペレーション。公共が施設の設計・建設・管理運営を民間事業者に一括で委託する）方式で行うとされているが、近隣では採用されていない。屋内型キッズスペース整備にDBO方式は必要なのか。また、設計工事に約4億5千万円とされるが財政負担としても大きいのではないか。

A DBO方式は、運営までを見越した設計を行うことが可能なため、効果的な整備ができること、分離発注方式に比べて工期を短縮できることをメリ



踏切道改良促進法の活用について



丸山 幸治

Q 危険な踏切を国土交通大臣が指定、国が監督し改良に導くという法律がある。令和3年の改正で市からも指定の申出ができるようになった。これをチャンスとして積極的に申出をすべきと考える。現在指定の申出をする予定はあるか。

A 改良すべき踏切道の指定は、改良工事を前提としており、市が鉄道事業者及び道路管理者の意見を聞いたうえで、国土交通大臣に指定の申出を行います。現時点では改良工事の予定がないため、指定の申出を行う予定はありません。



Q 国土交通省の改良事例に「地域の課題となっている踏切」として富山県高岡市では「通学路に指定されているが幅員が狭小

A で安全な歩行が確保されていない」踏切が指定されている。丸山太白町の犬山3号踏切は、PTAや地域から改良要望が出ているが、指定の申出がされていない。この3号踏切の安全をどう考えているのか。

A 車両通行規制や交通指導員の配置、グリーンベルトの設置等を行っております。犬山3号踏切を拡幅する計画はありません。県道御嵩犬山線の犬山1号踏切の歩道整備事業が進められており、こちらを利用して安全な踏切横断が可能となります。

小中学校の体育館の空調設備計画を確立すべき

日本共産党
犬山市議員
岡 寛

Q 児童・生徒の学校生活の中では、体育館はかけがえない施設だと思うが、まだ空調設備はない。一方で市の体育館には空調設備がある。投票所や避難所のことも考慮し、国として時限的な国庫補助金を出している時に、小中学校の体育館の空調設備計画を立案すべきだと思いがいかか。

A 国は令和15年度までの空調設備整備臨時特例交付金を制定しており、近隣市町でもこの補助金を活用して来年度までに設置していくことを確認しています。多くの市町で設置が進んでいる中、金銭的にも安価な整備方法が出てきており、現段階では整備費用を見通す状況になく、計画に落とし込む段階とは言えないが、先行事例を参考に実現可能



Q 児童・生徒の学校生活の中では、体育館はかけがえない施設だと思うが、まだ空調設備はない。一方で市の体育館には空調設備がある。投票所や避難所のことも考慮し、国として時限的な国庫補助金を出している時に、小中学校の体育館の空調設備計画を立案すべきだと思いがいかか。

A 県内で大型スポーツクーラーを設置している市の視察も指示し、打合せも重ねています。設置については早期に決めていかねばならないと考えています。

Q 断熱工事とのセットが必要ではないか。

A 安価な断熱も補助が認められる動きがあり、断熱工事とセットと考えています。

下水道の使用料を上げるなら都市計画税を減税すべきだ

清風会
久世 高裕

分につきましては、市民に必要な事業の財源に充てて市民サービスの継続に努めてまいります。

屋内型キッズスペース、設計工事に4億5千万円！

日本共産党
犬山市議員
岡村 千里

ットと考えています。整備費用は、面積1,500㎡、平米単価は設計1万7,600円、工事等28万2,400円と算出し、4億5千万円で当初予算をお願いしました。昨今の資材価格高騰の流れから見ると、決して高額ではないと考えています。

夏休み親子議場見学会を開催しました

来年も
お待ちして
います♪



議員への
質問

7月21日、市議会広報委員会が企画した「夏休み親子議場見学会」を開催しました。今年度で8回目となる見学会には、小学生とその保護者23組が参加しました。

第一部の「議員体験」では、議場で子どもたちが議員へさまざまな質問をしました。

「議員さんの主なお仕事はなんですか」「議会のない時は、どこでお仕事をされているのですか」「どうすれば議員さんになれるか」などの質問に議員が答えました。



第二部の「クイズラリー」では、議員が手作りの説明動画を視聴し、議会の仕組みなどを学んだ後、議場の市役所6階を探検しながらクイズラリーをしました。

クイズラリー中は、わん丸君も登場し、参加した子どもたちからは、「クイズが意外と難しく楽しかった」「わん丸君がいてとっても楽しかった」など、嬉しいご意見をいただきました。



実際に議場に座り、質問をすることで、忘れる事のない記憶が、いつまでも残るかと思います。



いろいろな質問に答えてもらえてうれしかったし、楽しかった。議員さんのことをもっと知りたいと思った。



視聴
できます

西小周辺の街路樹の剪定の仕方について



清風会
柴山 一生

Q 最近八月半ばに街路樹を丸坊主にしてしまうが、子どもたちが通学する歩道に日陰を作ってくれていた街路樹の枝や葉がなくなってしまうのは、心苦しい。おそらく秋の落ち葉対策で事前に対応しておくのが理由だろうが、もう少し時期を遅らせるわけにはいかないか。

A 街路樹にはナンキンハゼやアメリカフウが使われ、成育が早く、幹の低いあたりからも枝が生え、苦情や要望が多くなることや、通学路に指定されている路線であるため、夏休み中に剪定が完了できるように8月中旬から下旬に剪定作業を行っています。最適な剪定時期や方法を今後検証していきます。

高さ1メートル50センチ

A あたりまでであれば、元のボランティアで剪定し、高所は市にお願いすることはできるか。

アダプトプログラムに登録する方法があり、2人以上、年4回以上の活動をしてもらえば、清掃に必要なごみ袋等の支給や保険の加入などを支援します。



昨年10月、犬山市役所2階に刃物を持った市民が来庁し、現行犯逮捕される事案が発生したことから、8月7日に犬山警察署生活安全課の協力のもと、防犯訓練を行いました。

事前訓練として、署員から「さすまた」の取扱説明や護身術の説明を受け、その後の模擬訓練では、「市議会の全員協議会開催中に傍聴者が刃物を振り回す事件が発生した」という想定のもと、犯人役を署員が行い、議



員と市職員が合同で、「犯人対峙役」「取り押え役」「110番通報役」「隠語放送役」など役割を分担し、訓練を実施しました。

最後に、犬山警察署生活安全課長より、「犯人に対して1人で対応するのではなく、けが人はいないか、110番通報はしたのか、庁内への情報発信はしたのかなど、お互いに声かけをしながら対応することが重要である。」と講評いただきました。



防犯訓練をしました

犬山市議会presents

令和7年度市民との意見交換会

第一部

VRを使って災害を疑似体験してみよう

みんなで学ぶ

ゆるっと防災

家族で守る我が家の防災～命を守る知恵と技～

アウトドア防災ガイド
あんどうりす氏

阪神大震災被災体験とアウトドアの知識を生かし、2003年より全国で講演活動を展開。当時、誰も提唱していなかったが現在では当たり前になっている毎日のカバンを防災仕様に、というアイデアを提案。とりわけ子育てグッズと防災グッズをイコールにしてしまうアウトドア流の実践的な内容が好評。楽しくてすぐに実践したくなる、毎日の生活を充実させるヒントがたくさんあると親達の口コミで全国に広まり、毎年の講演回数は100回以上。

1月25日

13:00～16:00

市民交流センターフロイデ

第二部

市議会と語ろう会

市議会各委員会ごとにテーマを設けています。一緒に犬山市の未来について語り合いましょう！

大丈夫!?
犬山市の上下水道

建設経済委員会

市民の重要なインフラについて一緒に考えよう!!

市民と考える防災

総務委員会

あなたの身近なヒヤリハット！

未来の図書館を考えよう

民生文教委員会

こんな図書館だったらいいなあ。行きたくなる図書館についてみんなで考えよう!!

次回 11 月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27	28	29
					再開日	
30	12/1	2	3	4	5	6
				一般質問		
7	8	9	10	11	12	13
	一般質問		議案質疑	全員協議会		
14	15	16	17	18	19	20
		委員会			最終日	
21	22	23	24	25	26	28

11月定例議会では審議・審査する請願・陳情の受理は11月20日(休)正午までです。

今号の表紙
島田和宏様の「実りの秋」を使用させていただきました。ありがとうございました。

編集後記

市議会広報委員会
沼 靖 子

夏休み親子議場見学会では、子どもたちのきらきらした目と、そばで見守る保護者の皆さんの笑顔がとても印象的でした。1月には女性議会も予定されており、世代や立場を超えて思いを分かち合える場が広がっていくことを嬉しく感じています。これからも、市民の皆さまと温かくつながれる議会を目指してまいります。

■委員長

小川隆広

■副委員長

畑 竜介

■委員

増田修治・光清 毅

島田亜紀・沼 靖子